



広報を声にして伝えることは 楽しいし、やりがいを感じます

平山 喜代子^{きよこ}さん（緑町）

生家が劇場だったこともあり、子供の頃から人前が出るのが好きだったという平山さん。

現在は、詩吟で磨いた「声」で地域に喜んでいただいています。

なぜ声の広報の朗読をしようと思ったのですか

40年前から詩吟を始め、現在では、町内外で講師活動もしています。

今まで続けてきた詩吟を生かし、まちの方々に声を通して楽しさを伝えることができればと思い、声の広報の朗読に応募しました。

活動を始めてから、今年で10年が経ちますが、聞いてくださる方々からの声が励みになっています。

「テープが届くことを楽しみに待っています」という方や、病院で透析を受けながら聞いているという方のお話を聞くと、自分の声を待っている人がいるのだから、元気を出してもらえるように頑張ろうと思

い、続けることができています。

声の広報を朗読するときに 気をつけていることは

朗読で一番気をつけて読んでいるところは、読み始めの「声の広報 月号」という箇所です。最初が肝心なので、さわやかに元気一杯発声して「今月も元気にスタートしましょう」というメッセージをこめています。

このほかにも、話し言葉と書き言葉は違うので、聞いている方がわかりやすくなるように注意しています。例えば、イベントの記事を読むときは「人がたくさん集まって楽しかったんだろうな」などと情景を思い浮かべながら読むことで、聞く人にイメージが伝わると思います。

朗読は、難しいことではありません。この声がほかの誰かに届いているのだと思うと、楽しさで一杯です。

一緒に活動しませんか

地域の方や不自由な方の力になればと思い、好きな詩吟を活かして楽しく声の広報の朗読をしてきました。

2人でも3人でも集まって広報を吹き込むと楽しく朗読できると思います。みなさん、声を誰かに届けることはやりがいがあり、楽しいことです。一緒に交流しながら声の広報の朗読をしませんか。

連絡先 平山さん ☎22-3579
広報広聴係 ☎23-3069

人の動き 7月1日現在 ()は前月との比較

人口	19,754 人	(5人増)
世帯	7,783 世帯	(14世帯増)
男	9,657 人	(8人増)
女	10,097 人	(3人減)



今月の表紙

7月9日に開催されたSUNキューフェスティバルでの1コマです。丸太を切るチーム、応援する観客が一体となり熱気溢れる雰囲気でした。8月は、当別神社例大祭を始め、イベントが盛りだくさんです。是非、足を運んではいかがでしょうか。